

東大阪ツーリズム振興機構平成31年度事業計画

(1) ラグビー観光等スポーツツーリズム関係事業

(i) ラグビーワールドカップ2019のサテライトイベント（グルメイベント等）の開催

2019年9月から10月にかけて東大阪市花園ラグビー場で開催されるラグビーワールドカップ2019の観戦客等を対象とした「サテライトイベント」として、市内各所において、共通のグルメイベント（バルイベント、クーポンブック、スタンプラリー等）を開催し、ラグビーの文化である“アフターマッチファンクション”の定着を図るとともに、グルメを通じた市内回遊促進を図る。

(ii) 東大阪市花園ラグビー場の有効活用に向けた基盤づくり

東大阪市花園ラグビー場等の有効活用を図るため、全国の高校等のラグビー部を対象とした「春合宿」の実施に向け、合宿プラン（交流試合の枠組み構築や、合宿時の食事メニュー提案、宿泊施設の紹介等を含む）を策定し、プロモーション活動を展開する。

さらに、東大阪市花園ラグビー場等の付加価値を創出し、スポーツツーリズムやヘルスツーリズムの拠点として活用していくためのコンテンツ造成を行う。

(iii) 民泊等による宿泊施設の受け皿拡大に向けた基盤づくり

東大阪市花園ラグビー場を活用した各種スポーツイベント等の開催に合わせ、市内における宿泊施設の供給を確保するため、民泊セミナーの実施や、民泊（新法民泊や簡易宿所等）の事業展開支援など、宿泊施設の受け皿拡大に向けた基盤づくりを行う。

(2) モノづくり観光関係事業

(i) モノづくり観光の実施

モノづくり観光に関する団体（特に海外からの団体）の受入を拡充するため、受入環境の整備や、さらなる誘客に向けプロモーションを進める。また、市内における経済効果を高めるため、地域の多様な事業者との連携を促進する。

(ii) 国際的な展示会を活用したプロモーション

2019年に大阪で開催される「ツーリズムEXPOジャパン」や、「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」などの国際的な展示会の機会を活用し、モノづくり観光を中心とした東大阪市の観光商品（パッケージ）を、海外の旅行会社や代理店等にPRし、かつ今後の商談に向けたネットワーク構築を図る。

(iii) 広域連携による訪日教育旅行等の実施

東大阪市のモノづくり体験コンテンツの訪日教育旅行等向けに商品化を図るため、

広域連携の枠組みやモデルプランの構築を行い、国内外の旅行関連業者等へのプロ

モーションを実施する。

《想定される連携先》

①和歌山県橋本市

農業体験コンテンツ、高野山麓の歴史的資源等を有する。

②大阪府泉佐野市

漁業体験コンテンツ、関西国際空港のゲイトウェイ機能等を有する。

(3) まち歩き観光及びプロモーション業務等

(i) 「ひがしおおさか体感まち博」の拡大推進

東大阪市の地域資源を活用し、市内全域を会場と見立て、市内の事業者や団体がおもてなし役（案内人）となり開催する“博覧会”形式の体験型プログラムイベント『ひがしおおさか体感まち博』について、平成30年度の試行実施

（日本人対象、外国人対象）の成果や課題をふまえ、ラグビーワールドカップ2019の開催期間に合わせ、本格的実施を図る。

さらに、本イベントは2019限定のものとはせず、東大阪市の観光のメインコンテンツとして2020年以降も展開していく予定であるため、効率的なシステムの構築、インバウンド対応に関するノウハウ蓄積、ウェブやSNSを活用したプロモーションの確立など、今後の展開の見据えた環境整備を行う。

(ii) ウェブサイト、SNS及び観光周遊ポータルサイト等の運営並びにプロモーション業務

東大阪市のツーリズムに関するウェブサイト、観光周遊ポータルサイト、ランディングページ（外国人観光客等を対象としたプロモーションサイト）等のウェブ広報媒体や、SNS等の情報発信媒体の管理運営、拡充及びプロモーションを行う。多言語化等、インバウンドを想定した情報発信についても併せて行う。

(iii) 人材育成

インバウンド等へのおもてなしができる人材の育成を図り、体験プログラムや受注型ツアー商品等における通訳の登録派遣の仕組みを構築する。

(iv) 観光に関するマーケティング調査事業

継続的なマーケティングを実施するため、宿泊者数等の観光庁必須KPIに関するデータを収集するとともに、広く地域の関連事業者に対するヒアリング調査や実態調査を行う。

(v) 会議開催

観光施策の推進にあたり、地域の観光関連団体や、大学、金融機関、メディア、交通事業者、宿泊施設等の関係者から広く意見を聴取し、事業展開に反映させることを目的として、会議を開催する。